

平成27年度播磨町の教育

播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の教育方針をお知らせします。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

播磨中学校



▲高見嘉彦 校長

校訓「明朗・自治・創造」

教育目標

人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する。

努力目標

「基本的な学習・生活習慣の定着と育成」

- ①一人ひとりを大切にする授業づくり
- ②自分たちで支える学級づくり
- ③「あいさつ」からはじめる温かい人間関係づくり
- ④命の大切さを実感させる教育の実践

重点課題

- ・ユニバーサルデザインを取り入れた、わかる授業づくり（授業の基礎・基本の徹底と授業改善）
- ・道徳・学級活動の充実（道徳的実践力の育成と、生徒会活動の活性化）
- ・いじめ防止と、早期発見・早期対応に努める
- ・不登校対策
- ・開かれた学校づくりの推進
- ・特別支援教育の充実と、その知見と手立ての共有化
- ・人間的なふれあいに基づく生徒指導

安全・安心の学校づくり

経営方針

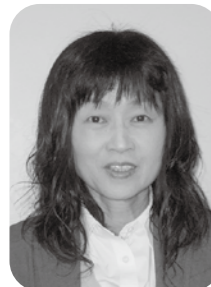
- ・全職員が全生徒と深く関わり合う（生徒あるところに教師あり）
- ・「ことば」を大切にされた指導を行う（厳にして滋のある指導）
- ・教師も自分を語り、生徒と共に学んでいく教師を目指す（進化できる教師）
- ・生徒と共に、時代の変化に対応し、グローバルな視点に立った「生き方」を考える
- ・心が和み、花と緑のあふれる優しさのある学校作りに努める
- ・家庭・地域との連携を密にする（ホームページの充実）



今年度も引き続き、石巻市の教育委員会へ紙パック回収の収益を義援金として送ることになりました。昨年度は、お陰様で、895.25kg集まり、17,905円の収益がありました。その内、10,000円を義援金として送ることができ、残額は、生徒会活動費として使わせていただきました。

今年度も、一枚でも多く回収したいと思いますので、引き続き、地域の皆さまのご協力をお願いします。

播磨南中学校



▲赤松幸子 校長

はばたけ南っ子 目指せ「あ（あいさつをしよう）ひ（ひとの話を聞こう）る（ルールを守ろう）」

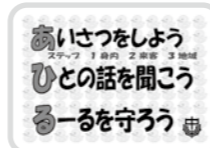
本年度の努力目標

「授業の充実」
「個が生きる学級づくり」

重点課題

1. 学習指導
 - ・基礎・基本の定着化
 - ・個に応じた教育の推進
 - ・情報教育の推進
 - ・指導と評価の一体化
2. 道徳・学活
 - ・生命尊重と自己実現を図る教育の推進
 - ・規範意識の醸成と道徳的実践力の育成
 - ・体験活動とキャリア教育の充実
 - ・学級会・委員会・生徒会活動の活性化
3. 生徒指導
 - ・生徒理解と問題行動などの解消
 - ・いじめを許さない土壌づくり
 - ・家庭・地域・関係機関との連携強化
 - ・防犯・防災教育の充実
4. 特別支援教育
 - ・インクルーシブ教育の推進

- ・コーディネーターを中心とする指導体制の充実
- ・生徒理解と学習指導の工夫
- ・通級指導の充実
- 5. 不登校対策
 - ・不適応生徒への支援
 - ・不登校担当を中心としたサポート体制の活性化
 - ・相互理解できる温かい集団づくり
 - ・町適応指導教室（ふれあいルーム）など関係機関との連携
- 6. 開かれた学校づくり
 - ・あいさつ運動の展開
 - ・通信やHPなどによる情報発信
 - ・ボランティア活動の推進
 - ・オープンスクールや講演会などの開催
- 7. 教職員の資質向上と業務改善
 - ・研修体制の確立と教師間オープンスクールの実施
 - ・防災リテラシーや応急処置能力の向上
 - ・情報教育に関する実践的指導力の習得
 - ・ICT化や定時退勤日の設定などによる業務改善



皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。ホームページ <http://www.harinanj.ed.jp/>

就学援助及び奨学金

1 小・中学校の就学援助制度

町立小・中学校の学用品費および給食費などに対して援助します。

▶対象 生活保護世帯または世帯全員の所得が基準額以下の世帯
※昨年度に認定された世帯も再度申請願います。

2 播磨町奨学金貸付制度

▶対象 高等学校、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校、各種学校、大学および短期大学（ただし私立学校については学校法人が設置運営する学校であること）に在学中で、所得が奨学生資格審査委員会の定める基準額以下の方

▶貸付額

区 分	奨学金の額	
国公立の高等学校	月額 17,000円	
私立の高等学校	月額 29,000円	
高等専門学校	国公立	月額 20,000円
	私立	月額 31,000円
専修学校	国公立	月額 17,000円
	私立	月額 29,000円
各種学校	月額 22,000円	
大学・短期大学	月額 30,000円 または50,000円（自由選択）	

●申込方法

▶受付期間 6月1日（月）～15日（月）

9:00～17:00（12:00～13:00、土・日曜日は除く）

※就学援助は期間後も随時受け付けますが、受付期間以降の申請については、4月1日にさかのぼって認定できませんのでご注意ください。

▶申込み・問合せ

教育総務グループ ☎079(435)0533

交通安全街頭指導員を募集します！

▶募集人数 1人

▶条件 町内在住で、平成27年4月1日現在50歳未満の方

▶試験日 6月16日（火） 10:00～

▶受付期間 6月1日（月）～12日（金）

※土・日曜日を除く。

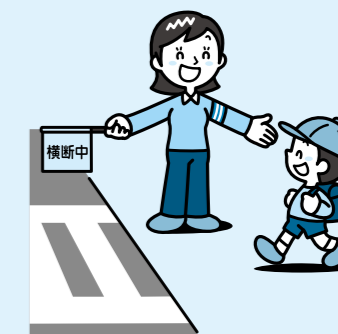
▶委嘱期間 平成27年7月1日～28年7月31日（継続あり）

▶業務内容 児童の登下校時に交通安全指導を行う

▶申込み・問合せ 教育総務グループで配布する申込書に履歴書を添えて提出してください

教育総務グループ

☎079(435)0533



よく学び よく育つ

指導員 林 裕秀

水仙の花

それまでの冷え込みから一転して春めいた陽気になった朝のことです。私はいつものように、校門で子どもたちが登校してくるのを待っていました。ふと歩道のわきのスロープに目をやると、そこには数本の水仙の花が凛として誇らしげに咲いていました。これはボランティアの方々が植えてくださったているものです。先日までの強い風のためか、花のまわりに枯れ葉が積もっていたので取り除いていくと、下の方にはたくさんのおさなつぼみがついていました。早々と咲いた七つのおさなつぼみ、次に咲こうと待ち構えているつぼみたち。同じように育てているのですが、花の咲く時期は違います。当然のことですが、早く咲いた花は



早く枯れ、遅く咲いた花は遅く枯れます。早く咲いた花は、その日、私の目を引いたように人の目を引きやすいのですが、早く咲いた花だけが美しいわけではありません。相田みつをさんの「にんげんだもの」の中に
花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はみえねんだなあ
という一節があります。目に見える華やかさ、でも見えないところに真実があるのかもしれない。子どもたちにも同じことが言えると思います。ちよっと目を凝らして、子どもの持っているおさなつぼみを見つけてみませんか。

播磨西小学校



▲木村詳司 校長

夢かがやき ともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成 真の「生きる力」を目指して

子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化をしています。特に、東日本大震災やゲリラ豪雨のような自然災害は、我々大人に対してもこれからの生き方を問う大きな課題だと考えます。

未来ある子どもたちには、そのような困難に直面しても生き抜いていける、真の「生きる力」を育てなければなりません。

実践目標

- 1 基礎・基本を大切にされた確かな学力（知）
- 2 命を大切に、友だちや仲間を思いやれる豊かな心（徳）
- 3 困難にくじけない、たくましい健康な体（体）

今年度は64人の新入生を迎え、367人でのスタートとなりました。入学式や始業式で、3つがんばってほしいこととお話しました。

- ・あいさつをしよう
- ・人のいやがることをせず仲良くしよう
- ・人の話をしっかり聞こう



今年度も保護者の皆様、地域の皆さまの深いご理解と温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

播磨南小学校



▲森敏雄 校長

「夢」と「希望」を持ち、 社会的自立を目指して学び合う南っ子の育成

変化の激しい時代を生き抜き、社会的自立を目指して、自らのキャリアを促進させる子どもに育てるためには、「生きて使える言葉の力」を身につけさせる必要があります。本校は、これまで培ってきた国語科での指導力を一層高め、単元を生き生きとした言語活動を基にデザインし、授業過程で子どもの思考力・判断力・表現力を鍛える指導について研究を進めます。ユニバーサルデザインにより教室環境を整え、読書活動の充実を図り、子ども一人ひとりの「言葉の力」を高めるため、教育の質的向上と内容の充実を図る取り組みに全力をあげます。

目指す子ども像

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 人格の尊重 | 生命を大切に、自他の人格や個性を尊重し合う子ども |
| 正しい判断力 | 勇気を持ち、適切に判断し、チャレンジすることを恐れない子ども |
| 強い心と身体 | ねばりづよく、くじけない心と、健康で強い身体をもつ子ども |
| 感受性と表現 | 豊かに感じる心を持ち、言葉の力を高めて表現できる子ども |
| 信頼と共働 | 互いを信頼し、共に助け合い磨き合う子ども |
| キャリア創造 | 社会的自立を目指し、自己の能力や創造性を伸ばす子ども |
| 社会への貢献 | 地域を愛し、社会に積極的に奉仕する子ども |

子どもが生き生きと活動できるよう、学校・家庭・地域がそれぞれの得意なことや魅力を存分に発揮したいですね。本年も、保護者や地域の皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



播磨小学校



▲児玉悦啓 校長

知・徳・体の調和のとれた児童の育成

社会情勢が急速に変化し、ますますグローバル化していく「知識基盤社会」において、将来を担う子どもたちにとって学び続けていくことが、たくましく生き抜いていくための原動力となります。

本校では上記の教育目標を掲げ、一人ひとりを大切にしながら下記の重点項目に取り組み、「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体力」の基盤づくりに尽力していきます。

保護者及び地域の皆さま方におかれましては、本校の教育にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

重点項目

- (1)全員の学力を伸ばす学習環境
 - ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境と授業研究
 - 聞く・読む（音読）・話すの基本的スキルの徹底
 - 共に伝え合い学び合う場の充実
- (2)協働による温かい人間関係づくり
 - あいさつをはじめ、思いを伝えるコミュニケーションスキルの育成
 - 道徳教育と人権教育の充実
 - 学年間における異年齢集団での活動

(3)健康維持と体力向上

- 食育と学校保健の推進による健康・安全意識の高揚
- スポーツテスト・かけ足記録会・なわとび検定などの自己目標の設定
- 器具を使った楽しめるトレーニングを取り入れた体育授業

(4)教職員の資質向上と業務改善

- 本校の教育問題に対する校内研修実施と若年者研修の充実
- 子どもと向き合う時間の確保と、良いところをほめて育てる意識の高揚
- 学校行事や会議の効率化による事務量の軽減と、勤務時間の適正化

(5)家庭・地域から信頼される学校

- 保護者との密なる連携（教育相談日の設定など）
- 地域ボランティア・指導者との連携
- PTA行事と町行事への教職員参加



今年は創立143周年です

蓮池小学校



▲木下康雄 校長

校訓 豊かな心 健やかな体

学校教育目標

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

学校教育目標を実現するために、蓮池小学校の全教職員の叡智を結集した組織力と、地域に開かれた信頼される学校のなかで、将来、子どもたちが自立し、社会で生き抜く「生きる力」を育てていきます。

めざす児童像

- (1)よく学び、努力する子
 - ・目標を持ち、意欲的に学習に取り組む子
 - ・自らの能力を駆使し、深く追求する子
 - ・学習規律を身につけ、基礎的・基本的な知識及び技能を習得する子
- (2)心豊かな子
 - ・主体的に善悪を判断し、行動できる子
 - ・自立の心を持ち、くじけず乗り越えていける子
 - ・豊かな心を持ち、人を思いやる子
 - ・他人の立場を認め、協力し、よりよい生き方を求める子

(3)たくましい子

- ・誰とでも仲良く、安全に楽しく活動できる子
- ・基本的な生活習慣を心がけ、健康で規則正しい生活をする子
- ・心身の健康の大切さに気づき、健康の保持増進に努める子

本年度の重点項目

- (1)基礎・基本の定着と、思考力・判断力・表現力を育成する
- (2)言語に対する関心や理解を深め、言語能力を育成する
- (3)「説明する理数教育」のさらなる推進を図り、学校力を向上させる
- (4)道徳教育を充実し、いじめを許さない学校風土づくりを推進する
- (5)自らを鍛える健康で明るく、たくましい子を育成する
- (6)地域と連携した開かれた学校づくりを推進する
- (7)「教師の授業力」の向上をめざした校内研修を充実させる
- (8)勤務時間の適正化によるゆとりある教育環境を整備する



きゃんぱすだより

第31期生徒会の活動がスタート

県立播磨南高等学校生徒会

第31期生徒会の活動が始まり、約2ヶ月が経ちました。初めは誰が何をすればいいかわからなかったりと不安と緊張でいっぱいでしたが、昨年度の生徒会の先輩方や、生徒会の先生方に教えて頂いたりしながら、生徒会全員がしっかり協力し合ってここまでやってこれました。まだ、2ヶ月しか経っていませんが、しっかりと考えて行動しなければいけないという事を様々な行事を通じて実感しています。

これから僕たち第31期生徒会だけの活動が本格的に始まります。毎朝行われる旗揚げやあいさつ運動、地域のボランティア活動にも積極的に参加することで、より多くの人に生徒会活動を知ってもらいたいです。また、体育大会や球技大会などの行事は、生徒全員が盛り上がるような楽しく笑顔あふれるものになりたいと思います。第31期生徒会のメンバーは、仕事も明るくこなす元気よさと、しっかりと



責任感をもっている人ばかりです。これからますます大変になると思いますが、生徒会全員が一致団結し、学校の代表である自覚をもって一生懸命頑張りますので、よろしくをお願いします。

新しい学年がはじまりました

県立東はりま特別支援学校 小学部

4月9日、平成27年度の入学式が行われました。今年は、小学部に7人、中学部に11人、高等部に40人の新転入生を迎えて全校生徒が210人を超えました。新入生は初めての学校、初めての友達にきっとドキドキの日だったことでしょう。これからの学校生活で、多くの人とかかわりを深めてほしいです。

小学部では、基本的な生活習慣を身につけることを最重点に取り組んでいきます。生活のリズムを整えること、自分から行動しようとする意欲を育てることが『自立と社会参加』につながると考えています。また自分の思いを上手に伝えることも大切なことです。言葉で、カードで、身振りで、様々な方法でコミュニケーションの力を育てていきます。ちょっと頑張ればできそうなことを目標に掲げ、できる喜びを積み重ねます。この喜びが自信となって、新たな課題に挑戦しようとする原動力になってほしいと願っています。



播磨西幼稚園

育てよう 豊かな心 元気な体

— すこやかでたくましく、
けじめある子どもをめざして —



▲佐伯啓子 園長

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
— 幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で —

本年度の取り組み

本園では、人とかかわりの中で、すこやかでたくましく、けじめのある子どもをめざし、幼児一人ひとりの気持ちを大切に、個々の発達に応じた望ましい教師の援助のあり方を探って

いきたいと思っています。

努力目標

- ・一人ひとりの幼児の発達や学びを踏まえ、必要としている経験を把握し、保育の内容の充実を図る
- ・幼児がいきいきと自分らしさを発揮し、友達や教師とかかわって遊び生活する中で、様々な気持ちに気付いていくよう援助する
- ・きまりの必要性に気付くよう機会を捉え、指導する
- ・シニアクラブや絵本ボランティア、小学生、中学生など地域の様々な人と触れ合う中であたたかい気持ちや言葉に触れる機会をつくる
- ・挨拶運動を通して、基本的な生活習慣が身に付くようにしていく
- ・教師としての専門性を磨き幼児理解に努め、保護者や地域と連携しながら指導の充実に努める

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、すこやかでたくましく、けじめある幼児の育成を目指し、努力してまいります。



播磨幼稚園

育てよう 豊かな心

— 深めよう ときめく遊び

— 様々な人とかかわりの中で
互いに育ち合えるような
環境構成と援助の在り方を考える —



▲富士山智子 園長

教育目標

「生きる力の基礎をはぐくむ」
— 幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で —

本年度の取り組み

幼児は、いろいろな遊びを通して、遊びを工夫する力や人とかかわる力など、たくさんのことを学んで身につけていきます。

今年度は、遊びや生活の中で様々な人とのつながりを深め、心がより豊かに育つように、また、いろいろな遊びが展開できるような環境構成の工夫をしたり、一人ひとりに応じた援助を考えたりして、互いに育ち合えるように取り組んでいきたいと思っています。

努力目標

- ・幼児一人ひとりの発達や学びを踏まえ、保育内容の充実を図る
- ・幼児の興味関心や発達に応じて、遊ぼうとする意欲につながるような環境を整える
- ・遊びの中で育てたい力や実際に育っている力を明確にする
- ・友達や異年齢児、地域の人など、様々な人とのつながりを大切にする
- ・心がときめくような多くの体験を通して、豊かな感性や表現力を育てる
- ・教師としての専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら保育の充実に努める



蓮池幼稚園

伝える・伝わる・伝え合う

— 発達段階に応じた
コミュニケーション力を身につける —



▲大辻京子 園長

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
— 幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で —

本年度の取り組み

本年度は、「伝える・伝わる・伝え合う」を合言葉に、園での集団生活の中で豊かな体験を通して感じたことを表現し、受け止めてもらう喜びを積み重ねながら、相手の思いにも気付き、そして、

互いに分かり合うコミュニケーション力を育んでいきたいと思っています。

また、県下でも珍しい公立幼稚園の3年保育という環境をいかして、一人一人の発達段階をふまえ、3年間のスパンの中でその時に身につけるべき力を見極め、保護者の方との連携を大切にしながら、取り組んでいきたいと思っています。

努力目標

- ・誰かに伝えたいと思えるような心ときめく体験を通して、豊かな表現力を育てる
- ・様々な人とかかわる機会をつくり、コミュニケーション力を育んでいく
- ・個々の発達や3年間の発達を見通して、きめ細やかな指導と環境を整える
- ・幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を工夫する
- ・保育園、子育て支援センターとの交流を深め、互いの保育理解と教育の充実を図る
- ・教師としての専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら指導の充実に努める



県立東はりま特別支援学校 オープンスクール

本校の教育に興味・関心のある方の参加を多数お待ちしております。

▼日時 6月8日(月)～12日(金) 午前10時～正午 (受付午前10時～11時30分)

▼内容 自由な授業参観

▼問合せ 県立東はりま特別支援学校

〒079-4300 2821

一日の家庭学習の時間は、学年によって変わります。めやすの時間は次の通りです。

小学1・2年生	30分
小学3・4年生	45分
小学5・6年生	60分
中学1・2年生	120分
中学3年生	150分

(次号から、学年ごとにお伝えします)



家庭学習コラム②

子どものための
かがやく未来のために
「家庭学習をこころごとく」

播磨町家庭教育推進委員会

「学ぶ力」「学ぶ姿勢」を身につけるために

【家庭学習は、とても重要】

●続けることが力になる！
自ら学ぶ子になるための3つの約束です。

- ①時間を決めて、集中して勉強しよう
- ②良い姿勢で勉強しよう
- ③学習用具をそろえよう